



青南だよい

令和2年2月号

港区立青南幼稚園
園長 新山 裕之

＜青南幼稚園の魅力の発信＞

港区広報トピックス（1月21日）で青南幼稚園の様子が紹介されています。日本教育新聞1月20日版には「足育」の取り組みの様子も大きく掲載されました。有り難い限りです。今年度は、先日の餅つきや有志お楽しみ会、6月の青南まつり、ひよこ組の活動を含め、PTAの皆さんの積極的な取り組みが、口コミで青南幼稚園のよさを広めてもらえたのではないかと感謝しています。お陰様で、4月から今年とほぼ同数の新入园児を迎えることになりました。引き続き、どうぞよろしくお願いいたします。



日本教育新聞やケーブルテレビで紹介されました！

＜足育や園内研の成果が遊びの姿に＞

幼稚園は幼児期の教育を行う学校であり、子どもたちの豊かな育ちを支える質の高い教育を進めるためには、園内研や研究保育は必須です。そのための保育時間の変更にご理解ご協力をいただき、ありがとうございました。保育を全員で見た上での協議会は、臨場感や納得度が高まります。3歳の生活面の自立、じっくり自分のペースで遊ぶ重要性を再確認しました。前回の指導で講師からの宿題としてまとめた「遊びを創り上げるプロセス」を再度ご指導いただき、さらなる改善の宿題をもらい、研鑽は続きます。



ごっこ遊びでのすてきなおせち料理とおもち

＜入学や進級に向けて＞

5歳児は、2月後半に3日間に分かれて青南小学校で体験授業や体験給食などができることになりました。小学校のお兄さんお姉さんと過ごし、学校の中の様子を知ることで、小学校生活への安心材料が得られるはずです。また、警察の方のお話を聞き、5歳児は一人で道路を歩く練習もします。これは保護者の皆さんもご参加ください。また、起床やトイレ、身支度は自分でできていますか。通園バックを背負って来る、おむつは外す、時間通りに登園するなど、当たり前のことですが、できているでしょうか？



今年も地域の方々に昔遊びを教わりました



3歳児の引っ越し鬼の様子を全職員で参観

・・・如月（きさらぎ）・・・

りっしゅん

立春（4日）…よもぎが柔らかい芽を出し始めます…

うすい

雨水（19日）…ハクモクレンの蕾がふくらんできます…

例年この時期は、カラカラに乾燥した園庭に一日に何度も水まきをしており、それも自然の営みの一つと思っていました。しかし、この冬は、暖かく雨の日も多く、改めて人の思い通りにはならない自然の不思議さや畏怖の念を感じます。

節分で豆をまいて鬼を追ひ払うと、立春を迎えます。寒さの中にも少しずつ春の足音を感じながら、1年間のまとめをする時期となります。1月にはインフルエンザが再び流行しました。うがいや手洗いを徹底し、元気に2月を乗り越えたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

青南の 二十四節気



保護者有志によるお楽しみ会、すてきでした！